

「誰でもデキルタグラグビー トライセットキャンペーン」

学校名	鳴門市撫養小学校	実施日	6月19日
担当教員名	林 美穂子	実施学年・人数	3年・63名

<p>学校・学級紹介</p>	<p>本校は、徳島県の北部に位置する鳴門市の中心部にある。校区内は鉄道やバスの交通機関が発達し、道路もよく整備されている。</p> <p>校区に居住を構える市民が増えたことにより、児童数は減少している。校区には官公庁・銀行・病院などが多く、商店街・量販店・マンション・飲食街など都市化され交通量は増大している。一方、旧街道に面した居住区は昔日の面影を残し、新旧両面をもった地域でもある。児童数は307名である。</p> <p>3年生は、1組31名、2組32名、計63名である。スポーツに対する関心は高く、サッカー、野球、ラグビー、剣道、空手、水泳、クライミング、テニス、バレエ等、多数がクラブや教室に通っている。</p>
<p>実施内容</p>	<p>本時は、週1回ある1・2組の合同体育である。タグラグビーは合同体育では2回目となる。学級により、タグラグビーの実施回数は異なる。このため、本時のめあて「全員パスしてタッチをしよう」を知らせ、ルールやファウルの確認した。</p> <p>ラジオ体操をした後、いくつかのストレッチを行った。</p> <p>4～5人チームの15チームが2つのコートに別れ、ゲームを行った。リーグ戦のためできるだけ多くゲームを行いたいと考え、時間は前半・後半無しの5分とした。待っているチームの中から審判と得点係を決めた。</p> <p>最後に、児童を集め片付けを行った。そして、協力したり工夫していた場面を取り上げ褒めた。また、作戦として、教科書に載っているやり方3つを紹介した。</p>
<p>指導のポイント</p>	<p>ゲームがスムーズに行われるように、ホワイトボードに対戦チームと審判・得点係を書いた。</p> <p>チームがよく分かるように1組対2組とし、帽子で色分けをした。ゲームにおいては、4～5人が散らばるように声をかけた。</p>
<p>感想・印象 今後の課題</p>	<p>児童は、タグラグビーが大好きである。特に活動的な男子は大変気に入っている。この運動では、ゲームを組み立てたり、協力したりすることが必要となり、大変良い教材であると思われる。今後は消極的な児童をいかに前向きに参加させるか、グルーピングの仕方やルールの工夫をして、全員が楽しくできるタグラグビーを目指していきたい。</p>